


しかはま自然観察会  『人も 自然も みんなともだち !』 No.17	代表責任者 古高 利男 ☎270-1132 我孫子市湖北台2-14-7 ☎090-7275-9890 2017, 2, 12
--	---

第17回活動「海の生き物」3回目

3回目ともなると、みなさんそれぞれ工夫してきました。
 テントあり、豚汁ありでした。
 さて、どんな観察会になったのでしょうか？

- 1, 日 時： 2017年月2月12（日）全日
- 2, 天 気： 晴れ
 気温・・・日だまりのところで約17℃
- 3, 交 通：○現地集合
 ○公共の交通利用
 (往) 京成船橋バス停 9：20発
 (復) ふなばし三番瀬臨海公園 14：35発
4. 場 所：○ふなばし三番瀬臨海公園
 干潮 11：54
- 5, 講 師：春日 伸雄（としのう塾長）
 福藤 恭司（鹿浜西小青少年委員）
- 6, 参加者：総数 13人
 内訳 家族3 大 人 4
 中学生 3
 小学生 3
 スタッフ 3

7, 活動の様子

- 集合
 自家用車で来た人は「50分程で、着いた」ということでした。
 バス組は、3組。今回は、空いていました。
- テント
 3つのテントがたてられました。休んでいるとき、「風を避ければ快適！」
 ということを、前回の活動で学習していました。
 できるだけ風の少ない所を選んで、赤・青・黄のテントが立ちました。
 この中で寝ころぶと、気持ちよくなり、眠くなりました。
- アサリは？
 前回（10月）に比べると、ぐ～んとお客さんは少ない。寒いからかな？と
 思いながら熊手を砂に潜らす。と、前回ならガリガリと音がしてたくさん
 のアサリが顔を出したのに、音が聞こえない！どこを掘っても同じでした。

どおりで、お客が少ないはずだ！

杭のそばのほうが少ないよ、と情報交換しました。が、必死に掘ってもわずかしかアサリを採れませんでした。

アサリは、どこへいったのでしょうか？

福藤さんの話だと「潮干狩りのときは、輸入アサリを撒くからね」ということでした。それに、今頃のアサリは、プランクトンが少ないので成長は遅い、とのことでした。

それでも、子どもたちは、貝を掘りながら「砂遊び」を楽しみました。

○ 鳥たちは？

双眼鏡で野鳥を探しました。たくさんハマシギはいましたが、他の鳥はあまりいませんでした。これも前回と大きく違うことでした。

鳥にも、それぞれ都合があるのでしょね。

○ 豚汁

寒い時には「暖かい汁物！」が一番。今回は豚汁を用意しました、具材は全部家庭で切り、ガスで温めるだけにしてきました。「うまい！」それは大人の声だけでした。子どもたちは。「シイタケ入っているから、いらな〜い」と、振り向いてくれません。おかげで何杯もおかわりし、「満腹！」になってしまいました。

○ ゆったり、のんびり

日だまりで豚汁を吸い、東京湾に出入りする船を眺め、遠くの煙突の白い煙を見、傍らでは子どもたちが仲良く遊んでいる。大人たちは、たわいない話しをしながら笑っている。

青い空、輝く海、潮の香り、松林から聞こえてくる小鳥の声！

8、親と子の、いきいき感想

○ おもしろかった。

しおひがり からはあるけど みはない

上沼田中3年

○ しおひがり 貝はまったくない。あつたと思うと、全部から。

しおひがり 貝はあるけど 中身なし

鹿浜五色桜小5年

○ たのしかった。

しおひがり さいしゅうてきに すなあそび

上沼田中2年

○ しおひがりをしました。たくさんとれなかったけど、たのしかったです。

鹿浜五色桜小3年

○ 海で遊んで楽しかったです。貝拾いは、開始15分ぐらいであきらめたけど、ドロ遊びはすごく楽しかったです。

ドロ遊び バシャバシャ水かけ たのしいな

鹿浜菜の花中1年